



国土交通省中国地方整備局  
山口河川国道事務所

平成25年9月4日

お知らせ

同時資料提供

山口県政記者クラブ  
山口県政記者会  
山口県政滝町クラブ

## ラオスの研修生が、<sup>さかえばし</sup>栄橋架替現場を見学します。 ～ラオスの道路維持管理能力強化のため 国土交通省が技術支援を行います～

国土交通省山口河川国道事務所では、ラオス人民民主共和国（通称・ラオス）の「道路維持管理能力強化プロジェクト」の一環として、昨年度に引き続き、ラオスの研修生に、栄橋架替事業の経緯や工事手順の説明を下記のとおり行います。

### ■現場見学

○日時：平成25年9月6日（金）13:00～14:00

○場所：一般国道2号 栄橋架替工事現場

（山口県玖珂郡和木町和木5丁目）

※広島県と山口県の県境の一級河川小瀬川に

架かる一般国道2号栄橋（山口県側）で見学します。

（詳細は別紙の位置図を参照して下さい）

○見学者：ラオスの研修生5名

※雨天決行。

○別紙：詳細位置図

○参考資料1：栄橋架替事業の概要

○参考資料2：ラオス国道路維持管理能力強化プロジェクト研修概要

### [問い合わせ先]

○国土交通省中国地方整備局 山口河川国道事務所

副所長 浅川 政和（あさかわ まさかず）

（担当） 道路管理第二課長 山田 晋吾（やまだ しんご）

電話番号 0835)22-1856

山口河川国道事務所ホームページアドレス

<http://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/>

■ 栄橋架替現場案内

> 広島県と山口県の県境の一級河川小瀬川に架かる一般国道2号栄橋(山口県側)で見学します。

▼位置図



(H23.11撮影)

▼拡大図(見学及び駐車位置)



▲マスコミ関係者駐車場(6台、4台)

▼H24年度の見学状況(ラオス研修生)



【188号新寿橋 (H24年度)】

▼工事現場の状況(H25年8月時点)



★ラオス研修生の現地見学の他に、旧栄橋の撤去工事状況がご覧頂けます。現在は、旧栄橋の上部工をクレーンで撤去中です。

# ■参考資料1 <老朽橋架替事業の概要>

## 一般国道2号 <sup>さかえばし</sup> 栄橋

山口河川国道事務所  
岩国国道維持出張所

栄橋は、一般国道2号の広島県と山口県の県境に位置し、一級河川小瀬川に架かる老朽橋を架け替えることにより、安全で信頼性の高い道路網を確保することとしています。

### ■位置図



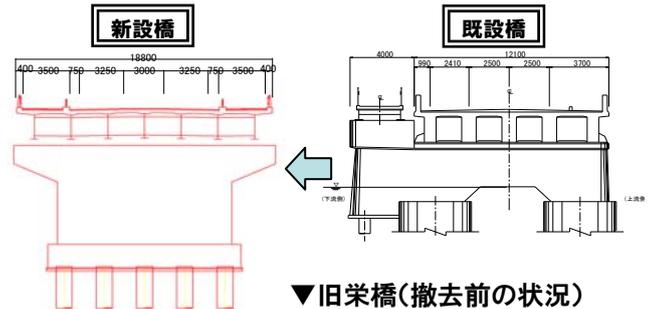
H23.11撮影

### ■事業概要

- 起終点: 広島県大竹市南栄二丁目～山口県玖珂郡和木町和木五丁目
- 延長: 0.4km(うち、橋長173m)
- 橋梁形式: 鋼4径間連続非合成钣桁橋
- 工事着手: 平成21年度
- 供用年度: 平成28年度供用予定

### ■旧橋概要(診断結果)

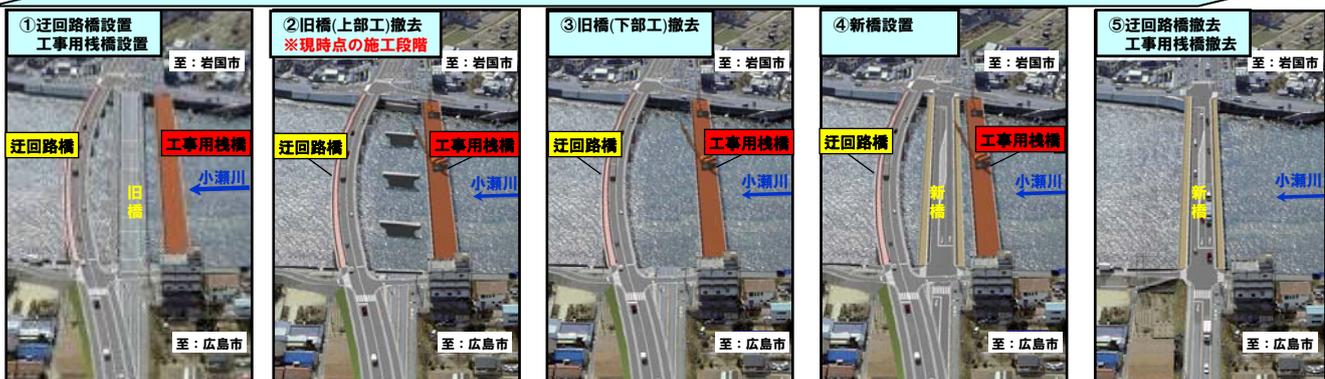
- 竣工年: 昭和17年3月
- 橋梁形式: 8径間鉄筋コンクリートゲルバーT桁橋
- ★診断結果: 60年以上経過。補修や補強を行うものの、コンクリートのひび割れや鉄筋の露出など劣化が進行。  
下部工は、大規模地震では安定度が不足。



▼旧栄橋(撤去前の状況)



### 架け替え工事の流れ



※上記の流れ図は、施工段階をイメージ図にしたものです。詳細にあたっては異なります。

## ■参考資料2:ラオス国道路維持管理能力強化プロジェクト・研修概要

### ■ラオスとは

ラオス人民民主共和国、通称ラオスは東南アジアに位置する共和制国家です。国土面積は236,800平方km(日本の本州より少し大きいくらい)です。

内陸国にあり、海はありません。北に中国、西にミャンマー、東にベトナム、南にカンボジア、タイと国境を接しています。人口は約650万人、60%が仏教徒です。言語はラオ語(タイ語にも似ています)。主な産業は農業と鉱業、観光業になります。首都はメコン川沿いに位置するヴィエンチャンで、ラオス北部には世界遺産に指定されているルアンパバンという街があります。

### ■プロジェクトについて

ラオスは内陸国という地理的特性もあり、隣接国との交通や、貨物輸送を道路に頼っています。現在は国道の約55%がアスファルト等の舗装が施されています。

ラオス政府は既存道路の効率的な維持管理の必要性を強く認識し、他国からの支援を受け、公共事業運輸省(日本で言う所の国土交通省)の制度・体制構築や道路維持管理システムの改善を急務としてきました。

しかしながら、予算不足に加え、職員の道路・橋梁の維持管理技術も十分とは言えず、約30%の舗装済み国道が「劣化」の状態にあると評価しています。

この主な原因の1つに維持管理現場における職員の技術レベルに課題があり、このような背景からラオス政府は日本政府に技術支援を目的としたプロジェクトの実施を要請し、独立行政法人・国際協力機構(JICA)のもと、2011年9月～2016年9月まで「道路維持管理能力強化プロジェクト」が実施されることとなりました。

このプロジェクトでは、ラオス側が効率的な維持管理を行っていくための計画策定、日常維持管理能力の強化支援を目的としています。その一環として、今回5名のラオス政府の技術職員を招いて日本の道路維持管理に関する研修を受け、日本の技術・手法を習得する事になりました。

